

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス そらのわ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 3月 7日 | | 令和7年 3月 14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 11名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 3月 7日 | | 令和7年 3月 14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月 28日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | * 法人又は事業所として地域と交流できる行事を開催して機会を作り、地域主催の行事にも参加・出席している。 * 隣接する学校との交流やボランティアの受入れによる療育環境の充実を図っている。 | * 地域の方々と一緒に季節感を感じることができるように、夏の夕涼み会(ソラフェス)秋のプラネタリウム鑑賞会、冬のクリスマス会(ソラクリ)を開催し、ハロウィンでは、隣接する民家に協力を頂いている。 * 隣接する中学校との交流や一般・高校生のボランティア受入れにより療育内容を充実を図る。 | * 柱となる夏・秋・冬の行事を内容を工夫しながら充実・継続し広げて行きたい。 * ボランティア証の交付をおこなっている。募集の方法などさらに工夫を加える。 |
| 2 | * 早い時間からの受入れと、遅い時間までの預かりに対応している。 | * 放課後・長期休業期間の預かりについて、職員の出勤時間を工夫して、保護者のニーズに寄り添えるように時間調整をしている。 | * 保護者の働きやすい環境づくりを今後も継続していく。 |
| 3 | * 職員間で協議しながら、季節感のある行事の開催や壁面装飾に務めている。 | * 法人内のヘルパーステーションの協力を得ながら、手づくりで装飾品を製作して、レイアウトを考えて温かみを感じ取って頂いている。 | * 今後も話し合いをしながら、季節を感じるような行事の企画や装飾をして、楽しい環境づくりに務める。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | * 敷地土壌が軟弱で走行しにくいこと、玄関の雨避け用屋根が無い、建物全体がバリアフリーになっていないこと。 | * 旧幼稚園を一部の改修のみで使用しているため。 | * 可能な範囲で、改修や撤去等を行っているが、大規模な工事となるため、関係機関との相談や助成金を応募するなど、予算の確保に務める。 |
| 2 | * 保護者から同年代との交流の希望があるが、小学校や放課後児童クラブとの交流は、実施できていない。 | * ボランティアの導入含めて、一部の世代との交流はできているが、小学部から高等部までの交流の機会をどのような場面・形で設定していくかが課題である。 | * 法人の企画する行事で、きっかけを作りながら繋がりのお話を広げて、様々な世代との交流の機会を意識的につくっていく。 * HPでも交流について積極的に働きかけていく。 |
| 3 | * ご家族を対象とした研修(ペアレントトレーニングのような家族支援プログラム)は、開催していない。 | * 発達障害や今話題の愛着について、今、必要な求められている話題や課題を絞り込んでいく。 | * 子育て等に役に立つような情報提供や研修の開催に向けて、面談の際やアンケートを実施するなどして、保護者の求めるニーズを拾い掘り起こしていく。 |